



大阪ふれあいキャンペーン

大阪ふれあいおりがみ・すごろく導入用スライド（導入版）

「しょうがい」ってなんだろう

（大阪ふれあいおりがみ）

大阪ふれあいキャンペーン実行委員会



このポスターは、
何のマークを書いたもので
しょう？

ヘルプマーク



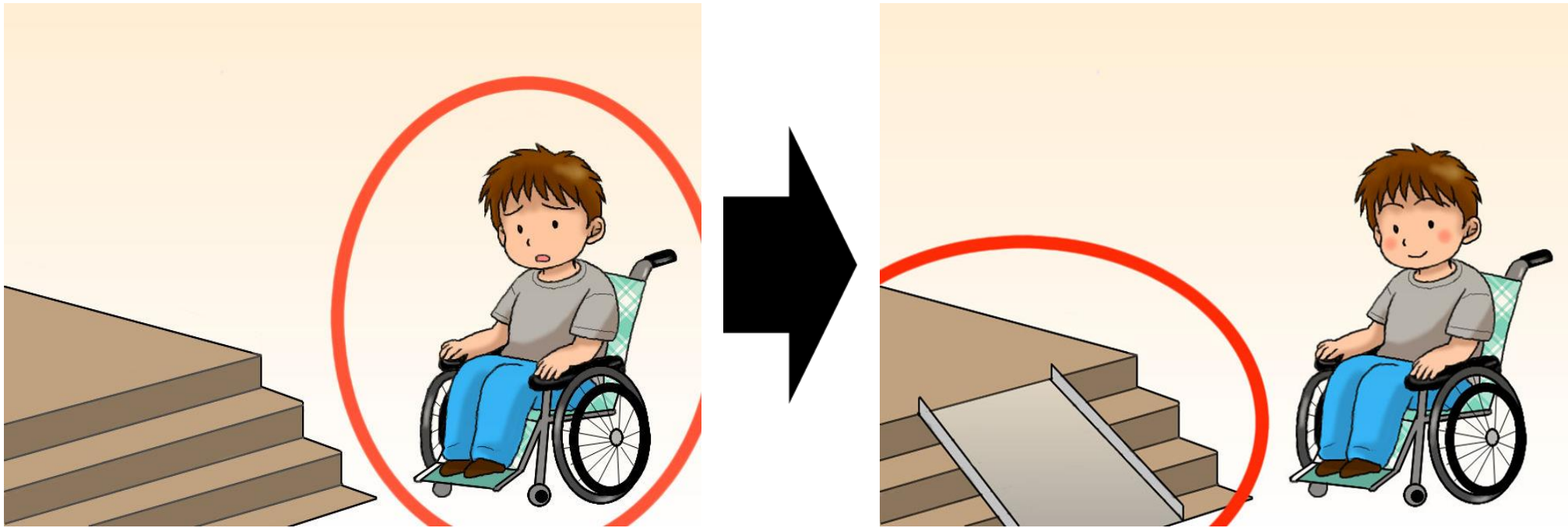
外からはわからなくても
助けがひつような人ための
マーク。

わたしたちのまわりには
いろんな人がくらしています。

- 目が見えにくい人
- 耳が聞こえにくい人
- 車いすを使っている人
- からだの中のはたらきがうまくいかない人
- 気持ちや考えをうまく伝えられない人

など、「ふべん」を感じている人がいます。

くらしの中でふべんを感じたり、
こまったりすることがあることを
「しょうがい」があるといいます



まわりの人の**おてつだい**やく**ふう**などで
くらしやすくなる人がいるはずです。

みんながくらしやすい「社会」になるために。

目にしょうがいのある人が、
えきのホームを安全に
いどうするためには
どうすればいいでしょうか？



ホームドア、
かどうしきホームさく
をせっちする。

みんながくらしやすい「社会」になるために。

しょうがいのある人だけでなく、大人も子どもも
みんながくらしやすい社会になるために、
いろいろな工夫がされています。



写真提供: 国際障害者交流センター (ビッグ・アイ)

バリアフリー トイレには、
いろんな人が使いやすい
さまざまなくふうがされて
います。



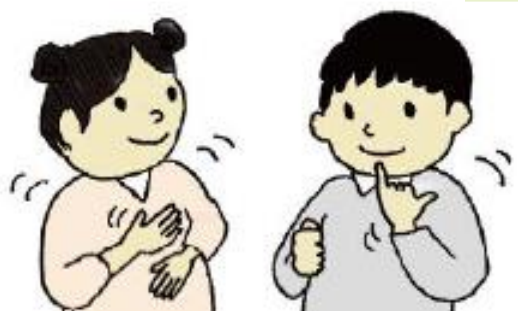
みんながくらしやすい「社会」になるために。

しょうがいのある人もないひとも、
みんながくらしやすい社会にしていくには、
だれもがくらしやすいかんきょうづくりが
大切です。

みなさんの身近なところではどうでしょうか。

また、自分たちには何ができるのか、
かんがえることも大切です。

自分たちにできることって何かな？



耳にしょうがいがある人



目にしょうがいがある人

体にしょうがいがある人

自分たちにできることって何かな？



体の中にしょうがいがある人

気持ちや考えを
うまくつたえられない人

みんなも、くらしの中で、ふべんをかんじたり、
こまったりすることはありますか？

にもつが多くて、
両手がふさがっているとき。



手をけがしているとき。



だれかが声をかけてくれたら・・・
だれかが助けてくれたら・・・

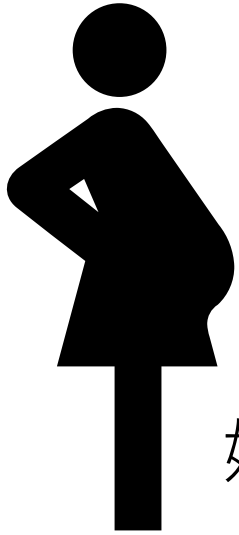


とびらを
開けてもらえて
助かった！



にもつを
持ってもらえて
助かった！

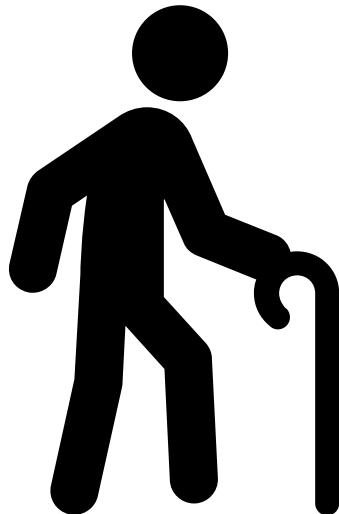
だれかがお手伝いしてくれたら助かることって
他にもないかな？①



妊娠（にんしん）
している人



ベビーカーをおしている人



杖（つえ）をついている人

「ふべん」をかんじているひとがいたら、
「お手伝いしましょうか」と声をかけましょう。

しょうがいとはまわりのかんきょうでへん化します。

しょうがいのある人が、
くらしやすい工夫についても考えてみましょう。